

# 第37号

# スポーツ推進委員だより

宮崎市スポーツ推進委員協議会



## 山本会長より



一年を振り返って

スポーツ推進委員の皆様におかれましては、日々スポーツ推進の事業の実施と他の団体との連携並びに実技の指導助言等、活躍されている事に感謝申し上げます。

今年度の活動方針のもと、組織の体制確立を目指し設けました選任事務局活動も、うまく稼働出来ていると思います。委嘱については、今年度から公募で委嘱された4名と、10月新たに宮崎公立大からの14名が加わりました。更に明るい雰囲気でも活動が出来るように繋いで行きたいと考えています。

各事業の参加者の減少対策につきましては、体育会連合会と行政と連携を図り、推進委員が積極的な地域の参加者増に向け、予選会の啓発活動を行う事が重要です。これからも、一致団結して楽しく活動しましょう。



## 松元事業部長より



平成27年度も皆さまのご協力を頂き、各事業を滞りなく終えることができました。誠に有難う御座いました。

また、今年度より事業部新体制のもと、班長を中心とした積極的な活動で、各事業今まで以上にスムーズに行えたと思います。今年度は従来の大会に加え、スポーツ推進委員協議会主催の事業が一つ加わりました。第1回地区交流ニュースポーツ大会です。反省材料も沢山ありますが、2回目はより良いものにしていきたいと思っています。益々、スポーツ推進委員のみなさんの力を貸して頂ければと思います。



## 松竹研修部長より



平成27年度を振り返って・・・

今年度の自主研修にご参加いただきました皆様、またご協力いただきました講師や協議会スタッフならびに研修部の皆様に心よりお礼申し上げます。全てのみなさんへ・・・「ありがとうございました」

今年は思わぬハプニングからのスタートとなり、皆様には大変ご迷惑をおかけする未熟な面もありましたが、たくさんの皆さんに研修に参加していただきました。ちなみに今年度実施した研修（参加人数）は・・・

自主研修（年3回開催）

- ・春「スポーツ推進委員の役割と心得（兼 新人研修）」（参加率約50％）
- ・秋「障がい者スポーツについて学ぶ」（参加率約40％）
- ・冬「シナプソロジーについて学ぶ」（参加率40％）

平成28年度も、より多くの推進委員で学び、楽しむ意義ある研修にしていけたらと思っています。皆様のご参加ご協力よろしくお願い致します。研修部のメンバーも心機一転頑張ります。



## 長友広報部長より



広報部長を受け、早1年が経ちました。この間たくさんの方に支えて頂き、年3回の広報誌を発行することができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後も皆様にちゃんと読んでいただける見やすい広報誌を目指し、広報部一丸となって頑張っていきたいと思っています。また、私たちと一緒に広報誌を作る仲間を募集しています。広報誌作成はもちろんですが、情報交換も頻繁に行われています。月1回程度の活動です。

広報スタッフ 部長：長友ひとみ（江平） 副部長：山元美保（檜） 担当副会長：安藤定美（佐土原）  
部員：本部伴典（檜） 坂元孝夫（倉岡） 栗原和幸（大宮） 児玉麻衣子（住吉）



## 第4回地区対抗ビーチボールバレー大会報告

11月22日(日) 清武体育館

各地区の予選を勝ち上がってきた精鋭たち、平均年齢60歳以上14チーム、40歳以上20チーム、39歳以下13チームがしのぎを削りました。私は40歳以上のコート責任者として、決勝までを見届けました。試合を見ていて感じたことがあります。それは、どのチームもスポーツマンシップにのっとり、正々堂々と戦っていたことです。勝つことにこだわってきわどいサーブを打ったり、ジャッジに異議を唱えたりすることがなかったのは、素晴らしいことだと思いました。選手の皆さんとお互いに楽しく、この一日を過ごすことができました。(栗原)



### 平均年齢39才以下

- 1位: 川原区会 (中央)
- 2位: 倉岡ニュータウン (倉岡)

### 平均年齢40歳以上

- 1位: 生目台西団地 (生目台)
- 2位: 火切塚 (東大宮)

### 平均年齢60才以上

- 1位: 花ヶ島 (東大宮)
- 2位: 北花ヶ島 (東大宮)



## 第32回地区対抗駅伝競走大会報告

1月17日(日) 生目の杜運動公園

前日準備は、快晴の中、大量のコーンをトラックに積み込み、各ポイントに下ろし、コースの確認をしました。大会当日の天気予報は曇りのち雨。時間とともに気温が下がり、とても寒い一日でした。心配された雨は閉会式まで待ってくれました。今年は、男子14地区19チーム、女子12地区13チームが出場しました。途中、女子1チームが棄権しましたが、他のチームはしっかりと最後までたすきを繋ぎました。結果は下記のとおりです。なお、各区間の記録タイムはホームページに掲載しています。(長友)

### 男子

- 1位 高岡 (53分14秒)
- 2位 大宮A (53分28秒)
- 3位 佐土原A (53分59秒)

### 女子

- 1位 大淀 (44分07秒)
- 2位 高岡 (46分41秒)
- 3位 生目 (48分15秒)



## 第14回地区対抗グラウンドゴルフ大会報告

3月12日(土) 生目の杜・多目的広場

21地区から総勢200名が参加して開催されました。最高年齢選手は、男性90歳、女性89歳。平均年齢77歳の選手たちが、地区の代表として、日頃の腕前を発揮されました。優勝されたチームの平均年齢は、79.2歳と意外と高齢者のチームでした。個人で優勝された方は、1ホール平均2打で廻っておられました。恐れ入りました。これからもスポーツを楽しまれて、益々健康に努めてください。コート設営に改善の余地あり。(安藤)

### 団体の部

- 1位: 清武町GG協会2組 (清武)
- 2位: 佐土原A 新城 (佐土原)
- 3位: 愛友会 内海 (青島)

### 個人の部

- 1位: 長友 五男 (木花)
- 2位: 太田 勝朗 (佐土原)
- 3位: 笹本 和彦 (大宮)



## 第1回地区交流ニュースポーツ大会

2月28日(日) 北部記念体育館

各地区から40チームが集まり、初めてスポーツ推進委員協議会主催の大会が行われました。今回、私はチームを引率する立場で参加させて頂いたので、参加者目線で報告したいと思います。午前中は、ディスクッターや輪投げ、アジャタなど5種目を体験しました。本来は対戦方式で行うカロリングやスカットボールを、1チームで何点取れるかという獲得点数方式にしたのはナイスアイデアでした。私の娘のチームは小学校3年生主体だったので、なかなか上手にはできませんでしたが、午後のビーチボールバレーでは、2戦2勝できたので、とても喜んでいました。このような大会ならいつでも気軽に参加できて、三世代の交流にもなり、参加希望者が増えていくのではないのでしょうか。また、MRTテレビの『まなび隊』の取材を受け、とても良い思い出となりました。(栗原)



九州各県から2,249名、宮崎県からは201名の参加でした。

1日目、特別講演：智辯和歌山高校野球部監督高嶋氏、2日目、基調提案：前全日本バレー男子代表監督植田氏の講演。そしてパネルディスカッション。とても面白く、色々と考えさせられる盛りだくさんの内容でした。昔は当たり前だったと思いますが「幼少期に基本動作を覚えることの大事さ」そして「結果を出すには能力や技術だけではない、情熱・熱意、そして考え方・人間性が重要」などなど…。初めての参加でしたが、先輩推進委員のパワーに圧倒!?されつつ、とても有意義な二日間でした。これからも様々な研修や活動に参加し経験を重ねていきたいと思ひます。(末次)

## 坂元孝夫さんが功労賞を受賞されました

今から18年前、体育会会長から名前だけでいいからと言われ、引き受けました。何年か経つうちにこれでいいのかと思ひ始め、研修会等に参加するようになりました。そのうちに活動する楽しさを知り、ここまで続けることができ、功労賞を受賞することができました。これも地区体育会、スポーツ推進委員の方々の後押しと協力のおかげと感謝しております。これから先、何年務められるかわかりませんが、体力の続く限りスキルを高める努力をしていきたいと思ひます。今回の表彰、誠にありがとうございました。(坂元)



## 宮崎県スポーツ推進委員協議会研修会

2月21日(日)県武道館

今回の研修は4種目の実技研修でした。参加者は約140名で、25班に分かれ全ての競技を班単位で行いました。午前中の「スポーツ吹矢」は、スポーツ吹矢協会の方の指導の下、競技方法だけではなく、美しい所作と呼吸法が精神力や集中力を高めることも教わりました。参加者の中には、ゆっくりした動作が苦手で、せっかちに矢を吹いて指導者に注意を受けている人もいました。初めて体験する人が多く、的の中心に当たった時は、思わず声を上げそうになりました。

午後からの障がい者スポーツの体験では、ポッチャ、オーバルボール、ユニカールの3種目を行いました。どの競技も相手チームとの対戦だったので、道具やルールを覚えながらも勝負にこだわって歓声が上がリ、和気あいあいと楽しく体験ができ、とても有意義な研修でした。(山元)



## 第3回宮崎市スポーツ推進委員自主研修会

3月5日(土)北部記念体育館

### 「シナプソロジーについて学ぶ」

“シナプソロジー”とは脳を適度に混乱させて、認知機能と運動機能を向上させ、脳を活性化させるプログラム。シナプソロジーのエクササイズとして「指数えグーパー」「トントンスリスリ」「リズム手の平タッチ」「計算じゃんけん」「スカーフお手玉」等々12種目を体験した。

複数人で楽しく行うことでコミュニケーションも図られ、笑顔が絶えず、笑いながらもみんな真剣に取り組んでいた。小学生のゲーム遊び、高齢者の出前講座に最適と思った。

別途、認知症予防の食べ物、レシピの紹介もあった。脳梗塞や動脈硬化の予防には、納豆のネバネバが良いそうだ。100回位かき混ぜて夕食に摂るようにしよう。

また、宮崎市スポーツ推進委員協議会としての創作ダンスの振り付け練習や、今後の取り組み、関係団体等との現状についての説明が行われた。

認知症予防対策等に繋がる有意義な研修会であった。(本部)





まずは全員でラジオ体操。その後、キンボールとドッチビーを体験。公立大生のニュースポーツは1メートル走と枕投げ。何でも一生懸命やるのがスポーツ推進委員の良いところ。みんなマジで挑んでいました。

今回のニュースポーツ体験会は、交流会という意味では成功だったと思う。しかし、ルール説明・競技進行など多くの課題が見つかった。私たちにとって、成長するいい機会なので、見つかった課題から逃げることなく、次のイベントに向けて、改善していきたい。(公立大：加治木)

今回、初めてニュースポーツ体験会を開催してみて、ようやくスポーツ推進委員としてスタート地点に立つことができたと思う。反省点が見つかり、次のイベントまでに改善しなければならないと思うと不安はあるが、自ら考えたスポーツで多くの方と楽しみたい気持ちのほうが強い。企画から設営、運営まで工夫を凝らした今までにない楽しいニュースポーツを宮崎に発信していけるように、大学生ならではのアイデアを出していきたい。また、スポーツ推進委員そのものを広めていけるようにアピールしていきたい。(公立大：稲津)



公立大スポーツ推進委員



文化スポーツ課 前杉さんより

『～4年間 ありがとうございました!』

時が過ぎるのは早いもので、私がスポーツ推進委員の担当になってから4年が経ちました。皆様のおかげで、楽しいこと、苦しいこと、たくさんありましたが、人として成長できた4年間だったと思います。ですので、皆様には感謝!感謝!!感謝!!!の気持ちばかりが溢れ、『ありがとう』の言葉だけでは言い表せない思いでいっぱいです。

文化スポーツ課に異動してきたばかりの時を思い返すと、当時は、「スポーツ推進委員って誰なん?」って感じで、どんな役割があり、どんな活動をしているのか、正直なところ、全く知りませんでした。ただ、多くの経験と実績、そして豊富な知識のある皆様と仕事をさせていただくことに、いつも緊張していたのを覚えています。(本当ですよ!信じて下さい。これでも人見知りなんです...)そんな私を皆様は時には優しく、時にはクレームのように厳しく(笑)暖かく迎え入れていただき感謝しております。大変な時もありましたが、ものすごく濃密な4年間をおくることができました。

ご一緒させていただくなかでまず感じたこと、この思いは今も変わりませんが、『スポーツ推進委員を市民が知らない』ということです。これをなんとかしたい!と強く思ったことが私自身の皆様との関係の本当の始まりだったと思います。そんな私のささやかな努力と皆様の熱意のおかげで出前講座は年間約50件近い人気講座に成長しました。その他にもスポーツ推進委員協議会主催のニュースポーツ交流大会の開催や学生へのスポーツ推進委員の委嘱など、あれ?文書にすると4年間もいたのに書くことがあんまり無いような、、、まあとにかく、少しはスポーツ推進委員の認知度を高めることは出来たかなって思います。(皆さん!そう思っていますよね?)

さて、ここからは去りゆく私から皆様をお願いします。まず、今でも十分頑張ってもらってる皆様に言うのは大変心苦しいのですが、もっと頑張ってください!皆様ならもっともっと出来ると信じています!行政に依頼されたことだけではなく、『スポーツで宮崎市や各地域を盛り上げるにはどうしたらいいのか』を、常日頃から意識し、考え、行動して欲しいです。そして、もっと表舞台に出てきて下さい。『地域スポーツ推進の主役は自分たち!!』と思って活動していただきたい。その気持ちに応えるために努力するのが私たち行政職員の仕事ですので、難しいことも一緒にチャレンジしていきましょう!!生意気言ってすみません。でも皆様と過ごした4年間が皆様なら出来ると思わせてくれたので、思い切ってお願いしました。私がいなくなったあとも後任(假屋主任主事)がきっと皆様の思いに応えてくれるはずですよ。

最後に、4年間、本当にありがとうございました。皆様とお会いしたり、お話する機会が少なくなり寂しい気持ちもありますが、これからの皆様のご活躍を期待しております。そして、いつになるか分かりませんが、さらにパワーアップした皆様とお会いできることを楽しみにしております。

# 地域住民

だれでも会員として参加  
受益者負担(会費)

クラブ運営参画  
クラブスタッフとして



総合型=3つの多様性

高齢者の健康・  
生きがいづくり

多世代

多志向

## 総合型地域 スポーツクラブ

スポーツ文化

青少年の  
健全育成

医療費の削減

多様目

自主運営

受益者負担

地域の活性化

地域に合ったクラブづくり

いつでも、どこでも、いつまでも  
気軽にスポーツに親しめる環境づくり

地域コミュニティ

スポーツ  
実施率向上

ボランティア

生涯スポーツの「要」

一貫指導

施設の有効利用

学校部活や  
障がい者スポーツ

拠点施設



スポーツの振興

豊かなスポーツライフの創造

目的

地域の振興

豊かな地域コミュニティの創造

コミュニティは、実現するのが非常に困難なのにもかかわらず、「あったら良いな」という願望を含む理想像として示されることが多い。あらゆる地域に「理想的なコミュニティ」、つまり、すべての地域住民が自然と協力するような「温かいツナガリ」がもともと存在するわけではないのです。実際に住民たちが「理想的なコミュニティ」の形成に向けて繋がるようになればするほど、考え方の相違や利害関係、負担や義務等が際立つというリアルな側面も存在し、「気楽さ」が失われます。それでも、私たちは、「**スポーツの振興・地域の振興**」のため、協議会としての総合型地域スポーツクラブに挑み続けます。

総合型地域スポーツクラブは、**国のスポーツ基本計画の重点施策**です。現在、全国で3,600ヶ所。

この大会で新濱眞澄さんが功労賞を受賞されました。喜びの声をお聞きしました。

この度は、全国スポーツ功労賞を頂き誠にありがとうございました。地区の推進委員に任命され、早いもので30年の歳月が過ぎました。これも一重に家族の理解や推進委員の仲間、地域の方の応援や協力のお蔭と感謝申し上げます。

思い起こせば、何もわからず推進委員を受け、戸惑う時もありましたが、市主催スポーツ教室のアシスタントをする機会を頂き、講師の先生に巡り合い、その教室でお手伝いをしながら10年余りお伴し勉強させていただきました。また、講習会や研修会に積極的に参加し、指導資格などを取得し資質向上に努めました。そしてニュースポーツとの関わりで、ミニテニスの普及や協会設立にも携わる事ができました。クラブ結成や健康体操教室、放課後子ども教室コーディネーターの役目などにより沢山の方と出会い、輪が広がり、貴重な経験をさせていただきました。

これからも推進委員との交流を深め、協働し、地域との連携を図り、スポーツを通して楽しいまちづくり、健康づくりに頑張ります。有難うございました。(新濱)

おめでとうございます!



1日目

開会行事、表彰式後アトラクションとして妻高校女声合唱団による合唱、西都 pop Mエイサーによる演舞が行われた。エイサーは“沖縄において”ではなく“西都において”と変えたら良かったのに・・・。

基調講演「一期一会～スポーツを通じた出会いと絆～」と題し、いちごグループホールディングス(株)副社長兼(株)宮交シティ会長兼社長である石原実氏の講演があった。氏は、専門は野球のようだがウエイトリフティング部、ライフル射撃部の部長、監督としてオリンピック強化指定選手(ロンドンオリンピック銀メダリスト三宅ひろみさんなど)5名の指導、育成にあたっておられる。大変な勉強と努力をされていると感じられた。モットーは人間形成を意識するよう心がけ、多様な人々が仲間になれること、切磋琢磨しながらチーム全体で成長していき、自分の決めたことをやりきる中で自分と向き合えるよう指導されている。チームの成長や勝利に向けて的確な目標設定をし、各選手の夢を実現できるような指導者でありたいと言われていた。話が分かり易く上手で、参加者への質問の仕方も非常に良かった。時間が経つのも気にならなかった。1130県民運動の事業説明、ウォーキングの講習も行われた。(本部)

2日目

実技講習はパークゴルフと西都原観光ウォーキングに分かれて行われました。私はウォーキングに参加しました。西都原観光ボランティアに詳しく古墳の話聞きながら、ウォーキングを楽しみました。途中、季節外れのツツジが綺麗に咲いていました。私が歩いたBコースは短い距離だったのですが、最近古墳が新しく発見されたということで、その古墳まで足を延ばしました。そのため予定よりも随分長いコースになってしまいましたが、参加者はとても楽しんでいました。季節感あふれる自然の中でのウォーキングは会話も弾みあつという間に時間が過ぎていきました。(児玉)



末吉みどりさんと松竹昭彦さんが功労賞を受賞されました

この度、宮崎県スポーツ推進委員功労賞を受賞しました。ありがとうございました。何もわからない私に、先輩方が声をかけて下さり、ここまで来られたように思います。そして、家族や地域の仲間など多くの支えもありました。これからも感謝の気持ちを忘れず、健康で生かされていることを大切に思い頑張っていきたいと思います。また、新しい出会いを楽しみにスポーツ推進委員として活動していきますので、よろしくお願いします。(末吉)

おめでとうございます!



スポーツ推進委員は、毎年リカバリーバスの業務に就いています。今年も32名の推進委員が夜明け前に集合し、参加者のサポートをしました。一生懸命にゴールを目指すランナーの応援はもちろんですが、途中でリタイアしたランナーや、閉門時間に間に合わなかったランナーをバスに乗せる時には、“お疲れ様でした”とやさしく声を掛け、全ての参加者が気分良くバスに乗り込み、安心して帰れるよう努めています。(長友)

